



鳥栖市長
むかいかど よしひと
向門 慶人

ごあいさつ

鳥栖市は、鉄道や高速道路が交差する九州陸路交通の要衝として、その地理的優位性を背景に多数の企業が進出し、九州における製造拠点・流通拠点都市として発展してまいりました。現在も、佐賀県と協力しながら、新たな産業団地の開発に取り組んでいます。

スポーツも盛んなまちで、鳥栖市をホームタウンとし、鳥栖市を拠点に活動するサッカー・Jリーグ『サガン鳥栖』とバレーボール・Vリーグ『久光 Springs』は、国内最高峰の舞台で活躍し続けており、市民の皆さまに勇気と感動を与えています。

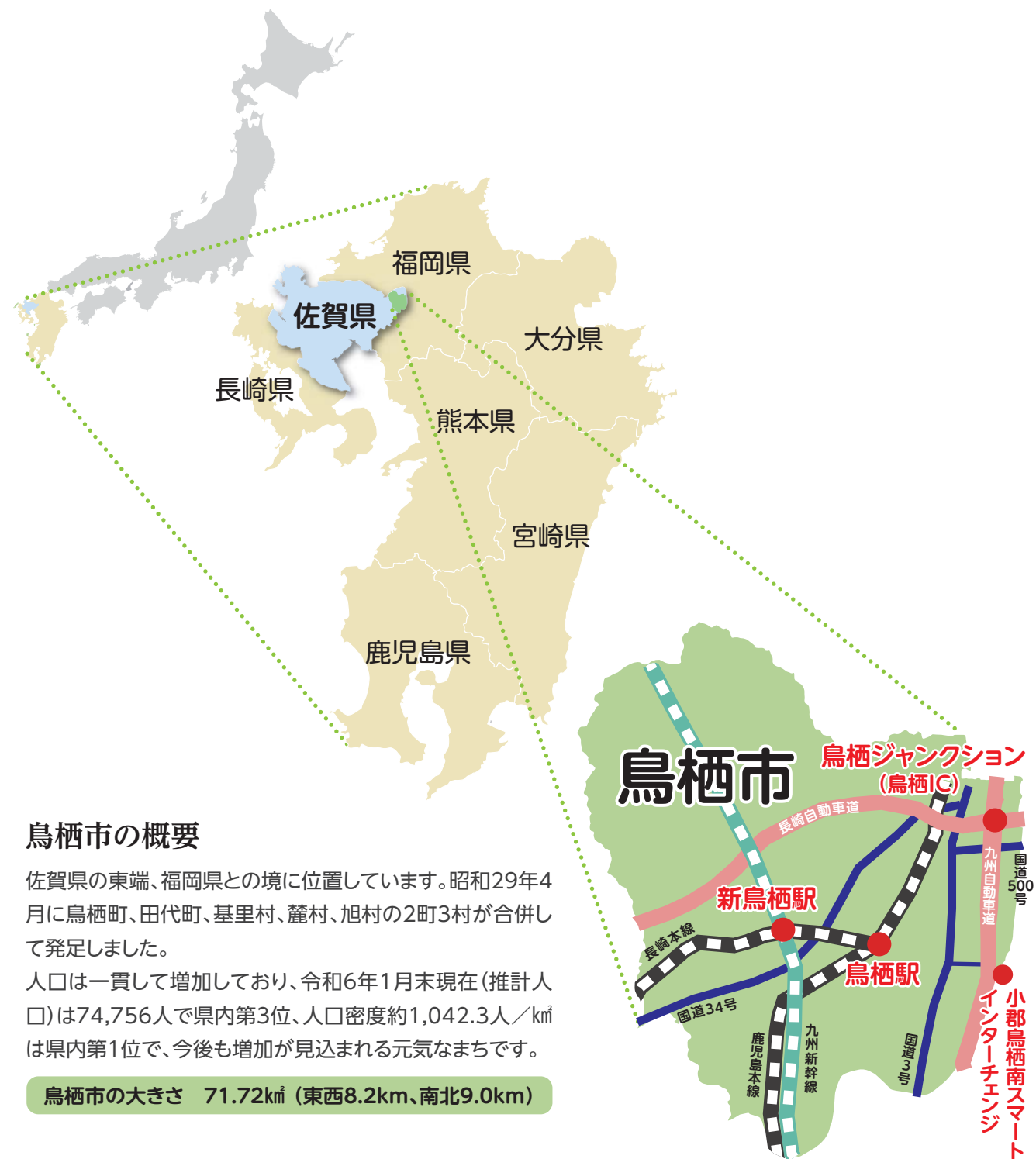
また、商業施設や飲食店が並ぶ市街地から車で10分程度の距離には、田園風景や四季の移り変わりを楽しむことができる豊かな自然も広がっています。この素晴らしい環境を後世へと引き継いでいくためにも、令和5年12月に『ゼロカーボンシティ宣言』を行いました。

今後も、市民の皆さまが住みよさを実感し「これからも鳥栖に住み続けたい」と思っただけのように、また、鳥栖市の魅力をさらに高めることで「鳥栖に住みたい」と思っただけのように、『選ばれ続けるまち』を実現するための施策を展開してまいります。

この市勢要覧で、鳥栖市の魅力を感じ取っていただければ幸いです。

CONTENTS 目次

02 >>> 03	市長あいさつ、市の概要	16 >>> 17	お祭り・イベント年間ガイド
04 >>> 05	魅力① 交通の要衝	18 >>> 23	総合計画 3つの鳥栖スタイル
06 >>> 07	魅力② プロスポーツのホームタウン	24 >>> 25	議会紹介、移住者インタビュー
08 >>> 09	魅力③ イベント	26 >>> 27	歴史でみる鳥栖市
10 >>> 11	魅力④ 歴史・伝統	28 >>> 29	データでみる鳥栖市
12 >>> 15	とすスポット	30 >>> 31	とすマップ



鳥栖市の概要

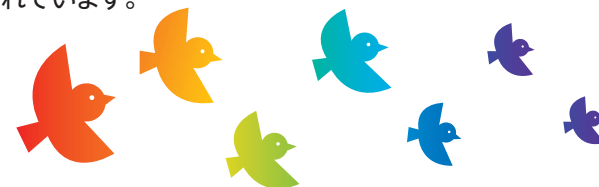
佐賀県の東端、福岡県との境に位置しています。昭和29年4月に鳥栖町、田代町、基里村、麓村、旭村の2町3村が合併して発足しました。

人口は一貫して増加しており、令和6年1月末現在(推計人口)は74,756人で県内第3位、人口密度約1,042.3人/k㎡は県内第1位で、今後も増加が見込まれる元気なまちです。

鳥栖市の大きさ 71.72km² (東西8.2km、南北9.0km)

『鳥栖』という地名の由来

鳥栖という地名は『鳥の栖』という意味です。奈良時代に書かれた『肥前風土記』によると、この地域に住む人々が鳥小屋を作り、さまざまな鳥を捕まえて飼いならし、朝廷に献上したことから『鳥屋の郷』や『鳥櫓(巣)郷』と呼ばれ、後に『鳥栖』という地名になったと伝えられています。



市イメージキャラクター『とつとちゃん』



市の鳥『メジロ』をモチーフにしたかわいらしい姿は、こどもたちから大人気で、市民の皆さんからも親しまれています。名前は、方言の『とつとつ(とつっているの意)』と『とり』からの連想が由来です。